

## 月例会「長期予報と大気大循環」の講演募集のお知らせ

本年も標記月例会を下記の予定で開催します。

ENSO やピナツッボなど話題は豊富にありますが、本年は大気や海洋、気候変動で指摘されている長周期変動、「10年スケール (Interdecadal) の変動」をテーマとします。このテーマ以外の講演も受け付けます。

講演を希望される方は下記の要領でご応募下さい。

### 記

日時：1993年10月1日 (金) 13時～17時

場所：気象庁第一会議室 (5 F)

テーマ：10年スケールの変動

申込方法：講演題目、講演者氏名・所属、講演要旨(400字以内)を添えて申し込んで下さい。

申込先：〒100 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁長期予報課

LF グループ事務局 (磯部英彦)

(TEL. 03 (3212) 8341 内線3159)

気象学会パソコン通信 ID : MSJ4643

申込締切：1993年7月30日 (金)



## 「変動気候下での緑資源と食糧生産に関する国際シンポジウム」 プロシーディングス販売のお知らせ

体裁：A 4 版、約400頁

招待論文13編、一般論文70編を収録

定価：4000円 (送料込み)

主なトピックと招待論文著者

1) 気候の変化・変動と生物気候資源の変化

H. Tooming (Estonia), M. Yoshino

(Japan), A. L. Jiang (China)

2) 緑資源の計測と評価法

T. Akiyama (Japan), P. H. Schuepp

(Canada)

3) 作物・林木の気象生態反応とモデリング

B. A. Kimball (USA), T. Horie (Japan),

J. T. Baker and L. H. Allen, Jr., (USA)

4) 植生と大気環境の相互作用

O. T. Denmead (Australia), T. Maitani

(Japan)

5) 対応技術と緑資源再生

T. Maki (Japan), K. F. Xiang (China),

Y. Takano *et al.* (Japan)

申込先：〒305 つくば市観音台3-1-1

農業環境技術研究所

気象管理科内 国際シンポジウム事務局

電話：0298-38-8204

FAX：0298-38-8199

支払方法：プロシーディングス送付時に同封する郵便振替用紙を御利用ください。

(日本農業気象学会)

## 北海道 第11回夏季大学

—新しい気象—

日時：7月28日（水）10時より7月29日（木）15時  
までの予定

場所：札幌市青少年科学館（JR・地下鉄「新札幌駅」  
下車）

（財）日本気象協会北海道本部（地下鉄「西28  
丁目駅」下車）

受講料：600円

申込方法：住所・氏名・年齢・勤務先・電話番号及び  
「新しい気象」と朱書したハガキで、お申し込  
み下さい。

申込先：〒004 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目  
札幌市青少年科学館  
TEL 011-892-5001

申込締切：1993年7月20日（火）

教科内容：「気候変動」等の講義が4講、他に科学館内  
の気象レーダー、気象衛星受画装置、人工降  
雪実験装置の展示も予定

問い合わせ先：日本気象学会北海道支部

TEL 011-611-6121 内線415

〒060 札幌市中央区北2条西18丁目  
札幌管区気象台内



## 教官の公募

所属講座：自然環境研究講座

職名及び人員：助手 1名

研究分野：植物気候学（大気環境と植物生態と  
の複合領域に関する研究分野）

公募期限：平成5年8月16日（月）までに必着  
のこと

採用予定年月日：平成5年11月1日

応募条件：博士の学位を有する者、または近い  
将来取得見込みの者、年齢は30歳前  
後が望ましい。

応募書類：(1) 履歴書（写真貼付）  
(2) 研究業績リスト  
(3) 発表論文等の別刷またはコ  
ピー  
(4) 現在までの研究の概要、及び今  
後の研究に関する計画と抱負  
（2000字前後）

(5) 推薦状その他本人が必要と思  
う資料

応募書類の提出先

〒724 東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学総合科学部長

戸田吉信 宛

\* 封筒の表に「自然環境研究講座（植物気候学）教官  
応募書類在中」と朱書し、簡易書留で郵送のこと。

問合せ先：広島大学総合科学部自然環境研究講座

教授 福岡義隆

Tel (0824) 24-6496 Fax (0824) 24-0758

教授 中根周歩

Tel (0824) 24-6510 Fax (0824) 24-0758



第17回レーザーダ国際会議 (17th ILRC)  
(17th International Laser Radar Conference)

日時：1994年7月25日(月)～7月29日(金)  
場所：仙台国際センター(仙台市青葉区青葉山)  
主催：レーザーダ研究会、米国気象学会 ICLAS  
分科会  
内容：ライダーの応用(大気、衛星搭載、陸地、海洋、火山、汚染、国際観測、他)  
ライダーの基礎(手法、データ解析、大気光学、分光)  
レーザーリモートセンシング(ライダー技術、レーザー検出器、測距、補償、光学系、イメージング)

問合せ先：〒910 福井市文京3-9-1  
福井大学工学部電気電子工学科  
17th ILRC 実行委員長 小林喬郎  
Tel：0776-23-0500 (EX. 2705)  
Fax：043-253-0272

本依頼状およびプログラムについての問合せ先：  
〒263 千葉市稲毛区弥生町1-33  
千葉大学映像隔測研究センター  
竹内延夫  
Tel：043-251-1111 (EX. 2897)  
Fax：043-253-0272

編集後記：4月期の異動も一段落し、やっと落ちついてきたところです。筆者もこの3年で2度目の異動をしましたが、幸か不幸かすべて同じ建物内の異動であったため、“天気”編集委員の解任は免れ、今回が2回目の編集後記の当番です。編集委員も毎年異動等で少しずつ入れ替わり、筆者が参加してからすでに2/3以上の委員が交替しました。編集会議に参加する顔ぶれは変わっても、会議の熱気は相変わらずで、2時間があっと云う間に過ぎてしまいます。

さて、1991年1月号から始まった“カラーページ”も、会員の皆様の御協力のおかげでなんと3年目に入りました。投稿して頂いた様々な写真を拝見する度に、編集者冥利を味わっています。

さてさて、本号が読者のお手元に届くころは、関東

地方は梅雨の真っ盛りでしょうか。でももうすぐ海や山で大活躍できる季節がやってきます。行楽の計画はもう立てられましたか？しかし、天気予報である程度大気の状態は予想できても、珍しい現象には何時遭遇するか分かりません。ですから、「出かける時には、カメラを忘れずに！」を合い言葉に、いざという時は、心のシャッターだけではなく、実際に記録に撮りましょう。また、「暑い夏は嫌いだ」という読者の皆さん、涼しい(クーラーがあれば)部屋の中で机の整理などいかがでしょうか。きっとみんなに見せたいような素晴らしい写真が眠っているに違いありません。

なにはともあれ、皆様からの投稿を心よりお待ちしております。上げます。

(宮本 仁美)